

新编日本语 能力考试

2 级 读解训练

主编：朱丽颖 林风英



 东华大学出版社

新编日本语 能力考试

2 级 读解训练

主编 朱丽颖

林凤英

江苏工业学院图书馆
藏书章



东华大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

新编日本语能力考试 2 级读解训练/朱丽颖等编.
—上海:东华大学出版社,2006.10
ISBN 7-81111-133-0

I. 新... II. 朱... III. 日语—阅读教学—水平
考试—习题 IV. H369.4-44

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 120986 号

新编日本语能力考试 2 级读解训练

朱丽颖 林凤英 主编

东华大学出版社出版

上海市延安西路 1882 号

新华书店上海发行所发行

苏州望电印刷有限公司印刷

开本: 787×960 1/16 印张: 16.25 字数: 311 千字

2006 年 10 月第 1 版 2006 年 10 月第 1 次印刷

印数: 0 001~6 000 册

ISBN 7-81111-133-0/H·045

定价: 29.00 元



前言

读解是测试考生外语水平的主要标志之一。因此在日语能力测试中,读解所占比重较大,分值较高,很多考生尽管为了备考做了很多练习题,但是该部分成绩依然不尽如人意,究其原因,除了基础能力较差外,还有一个重要原因就是由于未能掌握阅读方法与解题技巧所致。

虽然阅读考试题目文章有长有短,体裁不同,内容迥异,但是它们自有其内在的命题规律可寻,本书的编写目的就是解明这些规律并提出相应的解题方法,供广大考生参考。我们相信,这些方法和技巧针对性强、简明易学,学习者可以借助它们迅速判明关键词语,找出命题问题内在逻辑,从而寻得正确答案。

本书为日语能力测试二级阅读理解,在编写过程中,我们通过对近年大量真题的归纳和梳理,结合编者多年来对考生补习辅导的经验,首先从摸底形式入手,出5篇自测题,让考生针对自己的实力进行自测,找出自己的弱点,然后进入阅读方法及解题技巧的讲解部分,在这部分我们对二级阅读理解有什么样的题型,各题型用什么样的解题方法可以简明易学的解题做了详细地解释,并且还对考生提出了做二级阅读理解时应注意事项。为了说明阅读方法和解题技巧,在解说时大部分选用了真题为例讲解,而作为自测题,我们都选用了与目前能力考试的风格和难度非常相近的最新题型的一些其它题为例。

最后一部分,我们编写了长篇阅读,因为日语二级长篇阅读共有五种体裁构成:说明文、记述文、随笔、小说、对话。所以,首先我们对如何做这些长篇阅读进行讲解后,进入到综合能力测试阶段。

希望通过本书的学习和训练,能使读者尽快走出“死做题”的误区,收到事半功倍的效果。

在本书的编写过程中周桂香、曲凤鸣、刘峰、李婷、周海宁、李天镇等同志也给予了很多帮助,在此表示感谢。

由于时间关系,在本书编写过程中不足之处在所难免,望专家、读者批评指正。

编者于大连



概 论



一、二级阅读理解考试概论

(一) 考试目的

读解(即阅读理解)部分是日语能力测试中最重要的一项,也是分值较多的一部分,它的目的不是为了考察应试者学习了多少日语知识(即语法,词汇),而是要测试应试者具有的应用所学日语知识、技能,快速准确地阅读日语文献资料,获取信息、解决实际问题的综合能力、理解能力及掌握语言的熟练程度。

(二) 考试时间分配

阅读理解和语法共 70 分钟。因为语法大多都是固定搭配(即惯用),所以应尽快做完语法,多保留些时间给阅读理解。阅读理解和语法不同,答案线索都在文章中,多读几遍就有可能找到正确答案。

(三) 试卷组成及文章选材

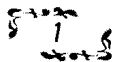
二级阅读考试题文章有长有短,一般长文 1~2 题,每篇 600~900 字,短文 5~10 题,每篇 90~200 字。

例如 2005 年二级阅读理解试题中,一篇较长文章(或某篇文章的部分章节)和九篇较短的文章(或部分段落)组成。共约 12 000 字 21 问。文章选材题材广泛,涉及到日本的方方面面,如政治、经济、文化、社会、教育、体育、科学技术、风俗人情、历史、地理等。有多种文体,即说明文、叙述文、应用文、议论文、散文等。

(四) 阅读理解的考试评分标准

二级考试问题每题 5 分,与语法题合计 200 分。

例如 2005 年二级阅读理解共有 24 个问题,卷面分为 120 分,语法题 35 题,卷面合分为 70 分,卷面总计 190 分。阅读理解考试得分计算按(正解总题数×5)÷190(卷面总分)×200 的公式计算。例如 2005 年二级阅读理解考试总题数 24 题,每题分值 5 分,答对 2 题,则 $(2 \times 5) \div 190 \times 200 = 11$ (小数点四舍五入)。



二、读解概论

读解是指读后对文章的理解,是语言能力的综合。但在阅读理解过程中,由于民族思维方式、语言表达习惯的不同,往往会出现许多困惑。因此要求学生在阅读理解过程中,首先必须按照所学语言国——日本人的思维方式和语言表达习惯充分理解文章的结构及语言的使用,应按原文顺序逐段通读,这样有利于理解作者的思路,抓住主题和大意,有利于对各部分的理解。因此阅读一篇文章应做到:

1. 通览全文,熟悉问题

通览全文时要注意文体、文风、文章内容等。从而对文章的整体结构和内容有个大致的认识。所得信息可帮助解答问题,确立一个总的基本思路。

但由于阅读时间有限,所以我们在进入阅读之前一定要认真看一下问题,带着明确的目的性,有的放矢地去阅读。而且往往对文章的内容、所提的问题等都会有所提示,从而帮助指导阅读和理解。

2. 通读全文,了解文章结构的整体内容

通读全文主要是要找出文章的要点,了解文章的大意和主旨。阅读是可采用跳读和略读的方法,注意力集中在文章意义的关联上,要避免在个别词句上过多纠缠。

3. 寻找和分析理解具体信息

主要包括上下文的逻辑关系、隐含的消息、生词等。这些具体的信息往往是设在问题之处或直接影响解题部分。根据这些相关联的信息做出合理的推论,正确的判断。

阅读理解要求能辨认句素及扩展的句素;理解指示词所指代的内容;理解文章各部分之间的关系;能找出主要论点或重要信息;寻找隐含的信息或观点;归纳中心思想;猜测生词词义;推测文章的发展和结果;获取段落大意等。

以上只是理论上的论述,在实际阅读时还需要综合各项因素灵活运用才能达到一定的效果。下面将分几个部分具体介绍阅读方法与技能。

目 录

前言	1
概论	1
第一部分 自测实力题	1
第二部分 读解方法与解题技巧	14
第一章 读懂文章大意,找出文章要点	14
第二章 指示语	29
第三章 解释语言及语句在文中的意义	46
第四章 原因、理由	56
第五章 填空	69
第六章 提炼主题	87
第七章 判断	101
第八章 文章细节	112
第九章 图示图表题	126
第十章 排列顺序题	142
第三部分 长篇阅读	151
第四部分 参考答案	244

第一部分 自测实力题

- 1 次の文を読んで後の問いに答えなさい。答えは①, ②, ③, ④の中から最も適当なものを一つ選びなさい。

外出時、一番疲れるのは体のどの部分かと問われれば、それは日本の場合、①間違いなく耳である。車や工事の音ならまだ仕方ないとも思えるが、我慢ならないのは一方的に浴びせられる音楽である。

最寄りの駅に着くまでも商店街全体に設置されたスピーカーから流している曲、各商店やファーストフード店等が店の外に向けて流している曲を最低五、六曲は聴かされる。しかもそれらは混ざり合ってしまったくわけがわからない。

②商店主は音楽を流すと客が寄ってくると信じているようだ。

JRに乗れば各駅を発車する度に流される珍妙な音楽。しかも音質が悪くてスピーカーが割れそうな音がしている。昔の発車ベルの方が[③]。かえってあの無機的な音の方が楽音よりも耳障りではなかった。しかも最近、駅のコンコースにBGMを流しているところもあり、この先、電車の中にも音楽を流そうなんてことにならぬよう、④祈るような気持ちである。

ちょっと腹ごしらえと飲食店に入ればここでもBGMが。ボリュームが大きければ大きいほど客の話し声も大きくなるので若向きの店では客同士がほとんど怒鳴り合っている。

こんな状態の後音楽会に行ったとしても耳はすでに「⑤使用済み」のようなもの。特に微小なピアニッシモを味わうのはほとんど無理と言ってよい。

ある公立ホールのアドバイザーをした時、最寄り駅の「発車音楽」を含むすべてのスピーカー使用をやめてもらうこと、駅からホールまでの商店の店外に設置されたスピーカーの撤去、付近の飲食店でBGMストップ要請を提案したが⑥ダメだった。ホールという「点」だけでなく周辺の環境まで考えてはじめて

「文化都市」づくりができると思ったのだが。

(沼尻竜典「発車音楽」朝日新聞 1996. 9. 25より)

(注) 耳障り(みみざわり)

【問1】 外出時、一番疲れるのはどうして「①間違いなく耳」なのか。

- ① 街には車が非常に多く、工事をしているところも多いから。
- ② 最寄りの駅に着くまでにはいつも音楽を聞きながら行くから。
- ③ 音楽を聞くことに我慢がならないから。
- ④ 街には一方的に浴びせられる音楽があまりにも多いから。

【問2】 下線部②には筆者のどのような気持ちが込められているか。

- ① 店で音楽を流せば客がたくさん来るとするのは正しい。
- ② 音楽を流したところで客が寄ってくるわけではない。
- ③ 商店主はどんな音楽を流せばいいか、よく考えなければならない。
- ④ 音楽を流せばどんどん客が寄ってくるという時代はもう終わってしまった。

【問3】 [③]に入る適当なものはどれか。

- ① 良かったというわけではない ② 音質が悪かった
- ③ すばらしかった ④ まだ良かった

【問4】 何を「①祈るような気持ち」なのか。

- ① すべての駅のコンコースでBGMを流してほしいこと。
- ② これ以上、街や電車で音楽を流すことにならないでほしいこと。
- ③ 電車の中では大きな音で音楽を流さないでほしいこと。
- ④ 電車や駅のコンコースでは好きな音楽だけを流してほしいこと。

【問5】 ここでいう「⑤『使用済み』」とはどういうことか。

- ① 街の様々な音楽などで耳が疲れてしまっているということ。
- ② 音楽をもう十分聞いて耳が満足しているということ。
- ③ 若向きの店の客同士の怒鳴り合いで耳が聞こえなくなったということ。
- ④ 微小なピアニッシモを味わうには耳が年を取りすぎているということ。

【問6】 下線部①に込められた筆者の気持ちとして最も適当なものはどれか。

- ① 駅や商店街の人達にBGMストップ要請をこれからも続けていきたい。
- ② 頼まれてももう公立ホールのアドバイザーなどをすべきではない。
- ③ 駅や飲食店でのBGMは「文化都市」づくりにとっては欠かすことができない。
- ④ 日本はまだまだ周辺の環境まで考えた「文化都市」づくりができるにはほど遠い。

2 次の文を読んで後の問いに答えなさい。答えは①, ②, ③, ④の中から最も適当なものを一つ選びなさい。

どれもこれも一時しのぎの仕事だったのだが、英会話教師の仕事は四年か五年つづいたと思う。これはもともとは生徒を募集するための貼紙を電柱に貼(注1)て歩く仕事だったのだが、夕方になって刷毛とノリのバケツを返しにいくと、事務室につれこまれて先生にならないかと話を持ちかけられたのである。(中略)

旧制高校や新制大学の英語の筆記試験をパスできる程度の英語は読みもし、書きもできるが、①話すとなるとまったく別である。いくら会話は二の次といっても青い学生にそんなことをさせようというのは②やらせるほうにもつぱら責任があると考えることにした。それからまた、シェイクスピアを自由に読みこなせる日本人の英文学教授が喋るとなるとカラキシでロンドンまでいくには(注3) (注4) いったけれど、会話ができないばかりにホテルの一室に一週間閉じこもったきりで帰国したというエピソードもあるのだからと考えることにした。しかし、ハローぐらいの発音はできなければなるまいと思うので③自分の受持時間より一時間早く学校へ行き、事務室で粗茶をすすりつつ、ベニヤ板一枚向うの教室でピアニストのイギリス女性や三井物産氏が日本語と英語でやっている授業に耳をこらし、つぎの時間になるとそのひとことやふたことを頭に入れて教室に出ていって生徒全員に何度も何度も大声で暗誦させることにした。あるフランス文学者の随筆によると、大学生の眠気をさますには授業中にときどき声を

改めて太宰治は…とか、坂口安吾の意見によると…など、授業の内容とはまったく無縁のことを大声でカマすことである、すると奇妙に学生がシャッキリとなる^(注6)とのことであった。①それを思いだしてハローやグッドバイの練習のあいまあいまに『哀愁』という映画の原題は“ウォータールー・ブリッジ”というのですが、この橋は…とか、ゲイリー・クーパーのクーパーとは“桶屋”^(注7)ということですが…などと、⑤必死になって脱線した。何しろベニヤ板ごしに一時間前に耳で聞いた⑥一言半句をイーストにしてパンをふくらませようというのだし、老若男女さまざまな眼の直視を浴びているのだし、心は逃げたい一心でいるのだしで脱線しないことにはどうしようもないのである。必死の脱線なのである。生徒はニコニコしはじめが、こちらはハラハラとなり、うわずるのをおさえることに夢中であり、しばしば冷汗や熱汗でぐっしょりになるのだった。明日食べる物がないという夢の頻度にくらべると、いささか落ちるけれど、⑦この教室を悪夢に見ることもしばしばあってそのたびごとに毛布を蹴って跳ね起きたものだった。

(開高健『破れた繭一耳の物語』新潮社より)

(注1) 貼紙(はりがみ)

(注2) 刷毛^{はけ}:毛の束を横に並べてつけたブラシ。ペンキなどをぬるときに使う。

(注3) 喋る(しゃべる)

(注4) カラキシ:全然(だめだ)

(注5) 暗誦(あんしょう)

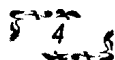
(注6) カマす:相手を驚かすような言葉を浴びせること。

(注7) 桶屋(おけや)

【問1】「①話すとなるとまったく別である」とはどんなことか。

- ① 読み書きはまだ大丈夫だが、話すのは自信がないということ
- ② 読み書きはやったことがあるが、話すのは未経験だということ
- ③ 読み書きを教えるのは難しいが、話すのを教えるのは易しいということ
- ④ 読み書きは学校で習ったが、話すのを習ったことがないということ

【問2】「②やらせるほう」とはだれのことか。



- 【問3】「③自分の受持時間より一時間早く学校へ行」ったのはなぜか。

- 【問4】「①それ」とは何か。

- 【問5】「●必死になって脱線した」というのはどんな意味か。

- 【問6】「⑥一言半句をイーストにしてパンをふくらませ」とは何のことか。

- 【問7】「㊦この教室を悪夢に見る」のはなぜか。

- ① その場に行けば、老若男女さまざまな視線を浴びるから
② 本当は会話の指導ができないのに無理してやっていたから

- ③ 生徒は聞いてくれたが、実はウソの話ばかりしていたから
- ④ 明日食べる物が無いという事実を隠して仕事をしていたから

3 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。答えは①, ②, ③, ④ から最も適当なものを一つ選びなさい。

この話をする前に「時間というものは作ることができない」という、当たり前のことを言っておきたい。1日が24時間であることを変えることはできない。

睡眠時間を削ればいいという人もいるだろう。必要な睡眠時間は個人差があるうえに、無理をすると苦痛も大きい。楽しいことをするために睡眠時間を削るのはそれほど苦にならないものだけでも、勉強のために睡眠時間を削るなど、①なかなかできるものではない。

では、どうすれば時間ができるのか。おむね二つの方法がある。

ひとつは自分にとっての「むだな時間を減らす」ことだ。大学に受かるための時間が必要ならば、それに関係のない時間を減らせばいい。これは必ずしも食事や入浴の時間を削れというわけではない。②当たり前のように過ごしているむだな時間をなくせばいいのだ。(中略)

1月1時間はテレビを見てもいいというような、ある程度の娯楽は許されるだろう。でも、どれもこれも十分な時間をとるのはとうてい無理な話だ。だから、どうしても自分にとって捨てられないことや捨てられない時間を二つか三つに絞り、それ以外は削らなければならない。

時間を増やす二つ目の方法は「③時間の密度を上げる」ことである。時間の密度を上げるということは1時間で5ページ勉強するのと10ページ勉強するのとでは、時間の密度が倍もちがうということだ。前にも言ったように勉強をやっていないのに「できる」人は時間的に多く勉強していないだけで人の何倍ものスピードで十分な勉強量をこなしているはずだ。

ここで浮上してくるのが④一見ムダに見える時間の効用である。1時間だけはテレビを見る。彼女と電話で話すなど何でもいいのだが「遊び」があることで残りの2, 3時間の密度がアップするなら、それはムダな時間ではなく投資の時間ということになる。

(㉟),時間をうまく使うには自分であれこれと試しながら,こうしたほうが能率が上がる,これは時間のムダだということを知っていく必要がある。自分で試しつつ,どうやったら時間の密度を上げられるか,何がムダで何がムダでないかを判断できるようになれば時間を増やすことができるようになる。そして,一度こういう能力を身につけておけば一生,時間をうまく使える人になれるのである。

(和田秀樹)

(注1) おおむね:だいたい

(注2) とうてい:とても

(注3) 勉強量をこなす:効果的にたくさん勉強する

(注4) 浮上する:うかぶ

(注5) 一見:ちょっと見ると

(注6) 効用:役に立つところ

(注7) アップする:あがる

(注8) 投資:将来の利益のためにお金や時間を使うこと

【問1】 ㉟「なかなかできるものではない」とあるが何ができないのか。

- ① 寝ないで楽しいことをすること
- ② 楽しいことをするための時間を作ること
- ③ 寝るための時間を作って勉強もすること
- ④ 寝る時間を減らして勉強の時間を作ること

【問2】 ㊟「当たり前のように過ごしている無駄な時間」とあるが,ここでの「無駄な時間」とはどのような時間か。

- ① 睡眠時間
- ② 食事や入浴の時間
- ③ 目標に関係のない時間
- ④ 大学に入るために勉強する時間

【問3】 筆者は㊟「時間の密度を上げる」ことについてどのように述べているか。

- ① 時間的に多く勉強する人の時間の密度は低い。
- ② 短い時間で多くの量をこなす場合,その時間の密度は高い。
- ③ 何倍ものスピードで人と同じ量をこなす人の時間の密度は低い。
- ④ 長い時間をかけていつもと同じ勉強量をこなす場合,その時間の密

度は高い。

【問4】 ①「一見無駄に見える時間の効用」の説明として、合うものはどれか。

- ① テレビを1時間見ることで情報量が増えること
- ② 遊びや投資の情報を得ることで能率が上がる
- ③ 恋人と電話で話すことで会う時間が節約できること
- ④ 遊びをすることでかえって勉強の集中力が高まること

【問5】 ⑤に入る最も適当な言葉はどれか。

- ① つまり ② それが ③ または ④ ところが

【問6】 筆者の主張と最も合うものはどれか。

- ① 時間の密度を上げる努力をするよりも、ムダな時間を減らした方が能率が上がるはずだ。
- ② 「できる」人のように短い時間でより多くの勉強量をこなすには投資の時間を減らす必要がある。
- ③ 時間をうまく使えるようになるにはゆっくりとあせらず、自分のペースで好きなことからやることが重要だ。
- ④ 時間をうまく使えるようになるには自分でいろいろやってみてその時間が無駄かどうかを判断する能力を身につけなければならない。

4 次の文を読んで後の問いに答えなさい。答えは①、②、③、④の中から最も適当なものを一つ選びなさい。

子どもを持ったことのある人なら三歳の子どもが電話に興味を持つことをご存じだと思う。会話がとてもおもしろい時期である。話しかければ返事をしてくれる電話に夢中にならないはずがない。言葉の発達と共に、うちの電話機は子どものおもちゃとなっていた。

初めのうちはジジババからの電話の途中で少し話をして喜んでいるだけであつたが、そのうち掛かってくる電話にも①出たがるようになった。

(中略)

次に彼は番号を押して自分で電話を掛けることに興味を覚えたようである。ジジババの家とうちの子と話をするのを楽しみにしてくれる叔母にかぎって掛

けさせることにしてこの二軒の電話番号を#01と#02の短縮番号^(注2)にしてあげた。彼はほとんど毎日②どちらかに電話をした。

「ほくのなまえはあおきいくまです。」「四さいになったらおおさわようちえんにいくんだよ。」とか、「今日ねおにくとおやさいいっぱいたべたの。あとね、えーとね…。」

などなど、彼のおしゃべりにつき合っている叔母もたいへんだなと横で聞いていて思いつつ、③好きにさせておいた。

「またおでんわしてねっていった。」「ごはんをいっぱいたべてねっていったよ。」「おばさんはひとりですんでいてさびしいんだって。ぼくとおはなしするのがたのしみだって。ぼくにあいたいて。」

久しぶりに叔母に会う機会があった。

「いつも子どもが長々と電話してすみません。」

「あーらやだ。何言ってんのよ、ちっとも電話してくんないじゃない。④子どもは元気?」^(注3)^(注4)

彼は毎日この叔母と電話で話をしていたのではなかったか。その夜、#02に電話してみた。見知らぬ人^(注5)が電話を取った。

「あなたがお父様ですか。いつもお坊ちゃまからかわいいお電話をいただいております。いつかご挨拶をと思っておりましたが、遅くなって申しわけございません。私は××と申すものです。いつもこの時間になるとお電話がこないかと心待ちにしております。最近はそれはもう毎日のようにお電話をくださいますので一日電話がこないと風邪でもひいたのではないかと、もしや⑤事故にでもあったんじゃないかとかやきもきしてしまうのですよ。今まで眠れない日がおおございましたのに電話の向こうで“バイバイ”って言ってくれた日はぐっすり^(注6)と眠れるようになりました。」^(注7)

主人をおとしガンで亡くしが^(注8)つくりき^(注9)ていたところに頼みだった息子夫婦も半年前に交通事故で亡くなりましてね、⑥孫も一緒だったんです。生きていればもうじき四歳になるはずでした。幼稚園もきまっていたのにねえ。そんな時にお宅のお坊ちゃまからお電話をいただきまして初めは死んだはずの孫からかと思いました。一回だけの⑦幸運な間違い電話のつもりでいたら何度も

くるようになりまして最初はたどた^(注10)としかったのに今ではもう立派にお話もできるようになって…。もしご迷惑でありませんでしたら、時々はお坊ちゃまのお声をお聞かせ願えませんか。』

こんな話を聞いてしまったらいやとは言えないだろう。叔母の家の電話番号を短縮番号に入力する時のミスだったようだ。新たに本当の叔母の番号を#03に入れた。そして彼は今でも#02に電話をしているようである。

(青木晴彦 「電話」第11回 NTTふれあいトーク大賞100選による)

(注1) ジジババ:おじいさんとおばあさん

(注2) 短縮番号にする:簡単にかけられるように電話番号を短い数字にして電話機にセットする

(注3) あーらやだ:少しおどろいた時に使う女性の言い方

(注4) 電話してくんない:電話してくれない

(注5) 見知らぬ人:ぜんぜん知らない人

(注6) やきもきする:心配する

(注7) おおごさいました:「多かった」のていねいな言い方

(注8) ガン:病気の名前

(注9) がっくりきて:急に元気がなくなる

(注10) たどたとしか:話し方がおさないようす

【問1】 ①「出たがるようになった」とあるが何をしたがるようになったのか。

- ① 電話での大人の会話に自分も参加すること。
- ② 電話番号を押して自分から電話をかけること。
- ③ 大人が電話で話している間、外に遊びに行くこと。
- ④ 相手とつながっていない電話をおもちゃにして遊ぶこと。

【問2】 ②「どちらかに電話をした」とあるが筆者(親)は子どもがだれと話していると思っていたか。

- ① おばさんが見知らぬ人。
- ② おじいさんかおばあさん。
- ③ おじいさんかおばあさんかおばさん。
- ④ おじいさんかおばあさんか見知らぬ人。

【問3】 ③「好きにさせておいた」とあるがだれがだれに何をさせておいた